

オリンピック・パラリンピック讃歌

書道部による最優秀作品の掛軸の制作及び展示

～ 現代短歌の創作を通した、京都ならではのスポーツと文化の融合 ～

京都府教育委員会では、オリンピック・パラリンピック教育推進事業を平成27年度から取り組んでおり、2020東京大会の成功に向けた気運を醸成するため、スポーツと文化を融合させた取組を『オリンピック・パラリンピック讃歌』と題し、スポーツを「する」「みる」「支える」の観点から表現した『短歌』を広く京都府内の高等学校・特別支援学校（高等部）の生徒から募集した。

平成27年度から令和2年度までの取組で、のべ15,200名、25,005首の応募があり、細胞生物学研究者で、京都大学特任教授でもある歌人の永田紅氏により入賞作品の選考していただいた。

最優秀作品

【令和2年度】悔しくて負けたくなくて勝ちたくても勝てなくて強くなってく

【令和元年度】おかしなライバルだったはずなのに君のことを応援している

【平成30年度】グラウンドで大きく息を吐く君の白い息だけ切り取る二月

【平成29年度】選ばれたライバルを応援することは技術の上達よりも難しい

【平成28年度】スポーツの授業の後の掃除時間みんなちがうユニフォーム着て

【平成27年度】笛が鳴りコートに駆け出す足音を近くて遠い此処（ベンチ）から聴く

京都府立洛北高校 三宅杏奈

京都府立洛北高校 宮崎夏穂

京都府立洛北高校 阪口 歩

京都府立鳥羽高校 山田若菜

京都府立鳥羽高校 上田里湖

京都市立紫野高校 倉田栞里

令和3年度のオリンピック・パラリンピック讃歌は、これまでの短歌の最優秀作品を題材に、府立高等学校「書道部」による掛軸作品を募集した。

なお、作品は、次のとおり展示する。

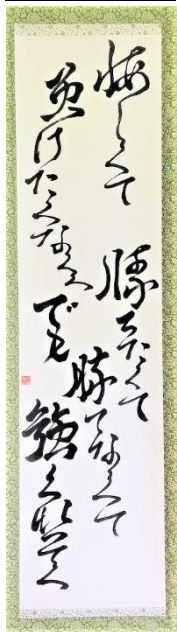


期 間：令和4年2月1日(火)～3月11日(金)

会 場：ホテルルビノ京都堀川
(京都市上京区東堀川通下長者町下ル)

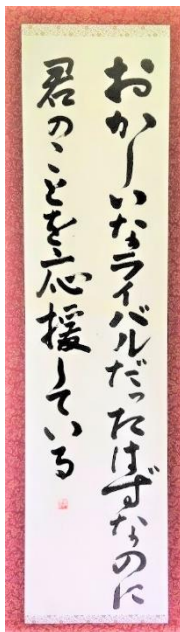
< 掛軸制作学校（書道部） >

京都八幡高校



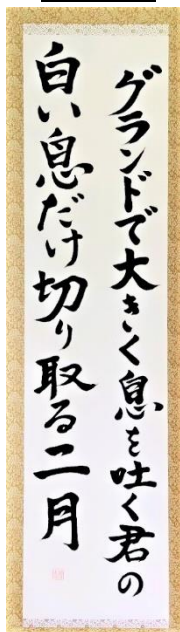
(R2)

城陽高校



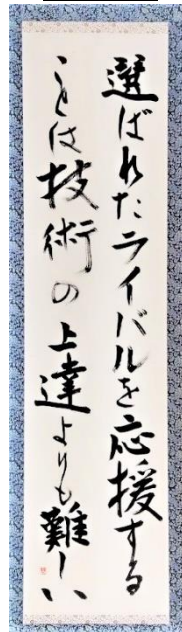
(R元)

洛北高校



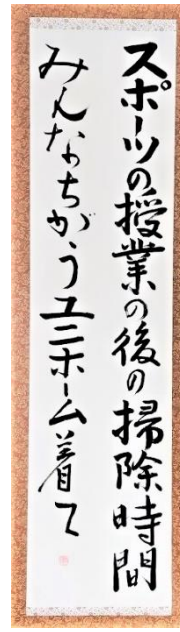
(H30)

山城高校



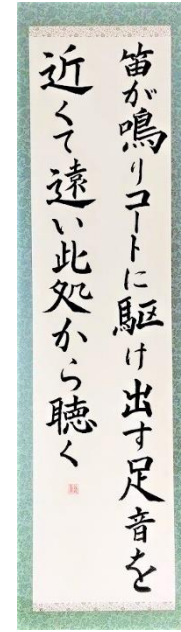
(H29)

鳥羽高校



(H28)

洛水高校



(H27)

担 当	学校体育係
T E L	075-414-5867